



# TOPICS

## 洗濯にこだわることもファッションです

文=諸橋 宏 (編集部) text=Hiroshi Morohashi (Real Design)



「ザ・ランドレス」の特徴のひとつが、洗い始めから、アイロンがけに至るまで同じフレグランスで統一できるラインナップを展開していること。洗濯における各工程で異なる香りがつくことがない。ブランドを代表するフレグランスシリーズ「classic」は品格のある落ち着いた香りだ。1. ステインソリューション【染み抜き】(500ml / 2,520円) 2. シグネチャー detergent【洗剤】(1L / 3,675円) 3. ファブリックコンディショナー【柔軟剤】(500ml / 2,520円) 4. スティファンアップ【仕上げ剤】(250ml / 2,310円)



### 出張時にごそ携えたい

携帯に便利なコンパクトサイズのトラベルシリーズは身だしなみに気をつけたい出張時の強い味方。トラベルバック(7,245円)、デリケートバケットボックス(3,360円)

**ま**だ寒さを感じるこの季節だが、気の早い読者はすでに春物のファッションをチェックし始めているのではないだろうか。素材やシルエット、ブランドストーリーにまでこだわって手に入れた1着は、一生モノのワードローブとなることだろう。もしそう考えるならば、一生付き合うための服へのマナーとして、洗濯にもこだわってみたいものだ。今月日本に初上陸した「ザ・ランドレス」は、アパレル・ラグジュアリーブランドで豊富な経験を積んだふたりの女性が5年前にNYで立ち上げたファブリックケアブランド。高価な衣類はドライクリーニ

ングに出すことが常識となっているなかで、彼女たちが提唱するのは、良質なケア用品を用い自分の手で洗うこと。化学成分が含まれない同ブランドのケア用品ならば、肌によいことはもちろん、衣類が傷むことなく、永く愛用できるというわけだ。こだわりは成分のみならず、製品の随所に感じとれる。素材、価格ともにプレミアム化が進むデニムに対応した「DENIM WASH」はその典型。色落ちを極限まで抑える成分構成とともに、ボトルには最適なケアの手順が丁寧に記されている。買う、着るに加えて“洗う”こともこだわるのがファッションの常識となりそうだ。



### グウェン・ホワイティング&リンジー・ウィーバー(右)

有名アパレルブランド、ラグジュアリーブランドで経験を積んだふたりは高品質なファブリックケアの必要性を感じ、大学での繊維・化学の習得を含め2年の準備期間を経て2004年3月に「ザ・ランドレス」を創設